

柘植地域

まちづくりだより

第265号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町10647番地
(柘植地区市民センター内)

発行日 2021(令和3)年2月1日(月)
〒519-1402
電話 45-888000 FAX 45-888003

柘植地域俳句コーナー

綾取りの
子へ手を貸しぬ
蝶の昼

桑原智代美



つげ The フォーラム(柘植小版)

1月21日(木)午前、柘植小学校で6年生と地域の方とが人権をテーマに話し合いをしました。12月8日に中学校で行ったフォーラムの小学校版です(『まちづくりだより』264号参照)。写真のように、参加者は感染防止対策としてマスクやフェイスシールドを着用、間隔を空けて座っています。

地域とともに考える身近な人権問題 ~自分ができごと~

○普段から相手のことを考えて、話し
たり、差別を言わなかったりすること
○「コロナ差別を防ぐにはどうしたら
いいだろう?」

○私は、自分は差別していないと思っ
ていて、自分も差別していないと思っ
ていて、「あつそうか」と思いました。

○「コロナ差別を防ぐにはどうしたら
いいだろう?」

○「子どもの考えと大人の考えが違
うのはどうしてだろう?」

○「コロナ差別を防ぐにはどうした
らいいだろう?」

話し合いの内容は、柘植中学校生徒が
中心となって、昨年に作成・実施し
た「人権アンケート」の結果(※)か
ら小学生が選んだ「考えたい2つのテ
ーマ」を取り上げました。

①「子どもの考えと大人の考えが違
うのはどうしてだろう?」

②「コロナ差別を防ぐにはどうした
らいいだろう?」

地域の方と一緒に人権問題について話し合
った子どもたちの感想を少し紹介します。



(※) 取り上げたアンケート
結果とは、「差別についての
考え方」「人権学習や研修会
への参加意欲」「コロナ差別
への対応」等です。

内容を詳しくお知りになり
たい方は、柘植小学校まで
お問い合わせください。

コーディネーターを務めた園浦
進吾さん(写真中央)です。



お知らせ いがまち人権同和教育研究会から
新型コロナウイルスの感染拡大から1年余
り、一向に収束の兆しが見えてきません。これ
までの日常がいかに豊かであったのか、思いを新
たにしています。

さて、今年度、いがまち同研の活動として、
『今、わたしが伝えたいこと』第四十五回いがま
ち人権・同和教育研究会に代えて(A4版)
を発刊しました。

この冊子は、過去をふりかえりつつ将来を展
望するための懸け
橋だと思っていま
す。ご一読いただ
ければ幸いです。

お問い合わせは、
いがまち同研事務
局(仁保)まで

今、わたしが伝えたいこと
第45回いがまち人権同和教育研究会
いがまち同研教育研究会編

本路線は、かねてからトラックなど大型車両の往来が頻繁で、歩行者を巻き込む事故が配されており、少しでも解消できればと思っております。



12月12日(土)、県道草津伊賀線が通る大師堂交差点(野村地内)付近に、ドライバーに減速を促す注意看板6枚を設置しました。

生活環境部会

ドライバーの皆さん、

スピードを落としましょう！
注意看板を設置しました！



地区市民センターの指定管理のあり方について

1月27日(水)夜、市民センターで、行政とまちづくり協議会役員との懇談会がありました。

会議には、地域づくり推進課から3名、上野図書館長を含め生涯学習課から3名、伊賀支所から2名、市民センター職員2名が参加、まち協からは会長、副会長、事務局長ら4名が話をうかがいました。

総務課発信の「支所のあり方」についても課題が整理されていない中ですが、地域づくり推進課がめざす「市民センターの指定管理」、生涯学習課がめざそうとしている、いわゆる「公民館事業のまち協事業への移行と支援方法」、加えて上野図書館がめざす「図書館の廃止統合などのあり方」が説明されました。

★★★ 事務局だより ☆☆☆

▼いままで経験したことのない新年の始まりとなりました。▼そんな中でもたくましい気持ちをもっていきたいものです。(西田方計)



イベントとしては中止となった霊山初登山ですが、個人的に約70名が挑戦。年末寒波を吹き飛ばすかのような御来光を拝むことができました。

年末年始あれこれ



1月10日(日)午前、伊賀市文化財に指定が予定されている勸請縄の制作と設置を、例年通り実施することができました。(中柘植区長談)

中柘植地区

勸請縄づくり